

小学生の進路・進学

分 か る と 快 感 !

Z会ナビ

算数

理科

▶歴史

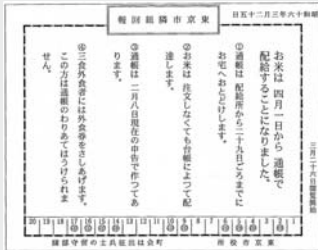
地理

お題

戦時中の回覧板を見てみよう!

(大学入試センター試験 2010年 日本史A)

次の図は、日中戦争から太平洋戦争の時期に、当時の東京市の各家庭に回覧された「東京市隣組回報」です。これを見て、わかることを説明しなさい。



この問題のもともと記号選択式でしたが、記述解答式の問題に変わっています。問題文にある、「日中戦争」とは1937年に始まった中国と日本の戦争、「太平洋戦争」とは1941年に始まったアメリカやイギリスをはじめとする連合国と日本の戦争のことです。では早速、図の「回報」を見ていきましょう。

回覧板と町内会の始まり?

図の一番下を見ると、数字がついた空欄があり、一部には印鑑が押されています。これと似たようなものを見た覚えはないでしょうか? そう、回覧板です。図の一番上に書かれている「東京市隣組回報」(以前は横書きの文字は右から左に向かって書かれていました)の「回報」とは回覧板とほぼ同じ意味です。

「隣組」とは、国が一丸となって戦争を進めて



昔のものから 今を考える

いくため、国の指導を行き渡らせることを目的とし、近所の5~10軒を一組として1940年頃から作った組織のことです。またいくつかの隣組が集まったものを町内会や部落会といいます。

コメが自由に買えなかった!

ここからは回覧の本文を見てみましょう。一番右端には、「お米は通帳で配給する」とあります。「お宅へお届けします」と言われると何かお得な気がしてしましますが、「配給」と

イラスト・瑞木匠

は品物を一定の量ずつ人々に割り当てて売ること、言い換えると、ほしい物をほしい分だけ買うことができない制度です。これが回覧された「昭和十六年」(西暦では1941年)には、1937年から始まった中国との戦争が長引き、日本国内では物が不足していました。

ところで、戦争で物が不足したのはなぜでしょうか? まず、戦争で貿易が止まったことで、物を作るための材料が日本に入らなくなりました。日中戦争が始まった際、アメリカなどの国々は日本との貿易をやめることで、日本の行動に抗議しました。日本は石油などの資源を持たないため、これには大きな打撃を受けました。また、農業や工業を担っていた人々が、兵隊として戦争に動員されてしまい、物を作る人が減ってしまいました。このため、女性や学生、子どもが農工業を担うようになっていきます。

コメの配給制は、制度としては1960年ごろまで残っていました。回覧板や町内会もそうですが、実は戦争の頃のものがまだ身近に残っているのですね。 【Z会・河原井彩】

! 今回の教訓

日本の戦争は遠い昔のことと思いがちですが、その時代のものが今も形を変えて残っています。



河原井彩さん 2007年にZ会入会。たいがくじゆんぶんふつにほしほし社。大学受験用の日本史、政治・経済の教材編集を担当。趣味は乗り物に乗ること。将来は猫と2人暮らし(希望)。新潟県生まれの埼玉県育ち。